

事業所名 はるかぜ

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和7年 2月 28日

法人（事業所）理念		障がいのある人々が地域社会で学び・働き、生活できるサポートを行い、共生社会の実現を目指す			
支援方針		3つのテーマ「学ぶ（ともに学ぶよこび）」「SST（将来に備えた支援）」「笑う（仲間たちと笑う）」			
営業時間（平日）		10時	00分	18時	00分
営業時間（学校休業日）		8時	30分	17時	30分
				送迎実施の有無	あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	定期的な心身の状態把握（入室時の検温等） SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練			
	運動・感覚	パソコンタイピング（美佳タイピング） 卓球台設置 ラジオ体操 マインドフルネス			
	認知・行動	1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認 時計を見ながら計画を立てる 活動に入るときはストップウォッチを使い時間の使い方や流れを意識する			
	言語・コミュニケーション	帰りの会で日々直を決め、活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションする 個別または小団体での障害の特性に応じた読み書き 活動の休憩時間にカードゲームやボードゲームを利用しコミュニケーション力を向上させる			
	人間関係・社会性	ビジネスマナー実施 地域施設などへの職場見学・就労体験			
家族支援		虐待が疑われる場合には、児童相談所等の情報連携			
移行支援		ご家族への情報提供や移行先の見学調整を支援する			
職員の質の向上		社会福祉協議会等が開催する研修への積極的参加			
地域支援・地域連携		虐待が疑われる場合には、児童相談所等の情報連携 学校等との支援方法や環境に関する相談援助			
主な行事等		春：外出・お花見 夏：七夕・夏祭り・就労体験 秋：お月見・ハロウィン・外出		冬：クリスマス・節分 隔月：お誕生日会	